

# 1 学期学校訪問から学んだこと① カリキュラム・マネジメント 5 (業務改善)



これまでのカリ・マネの特集で紹介した文とまんがは、前田康裕先生（熊本市教育センター副所長、前熊本大学教職大学院准教授、元小学校教頭）が執筆された『まんがで知る教師の学び3』（さくら社）からです。

この本の冒頭の場面では、それぞれの教師が、自分の教科指導や部活動を自分だけの力で実践している様子を表しています。毎日の激務に追われ評価や改善ができないので、例年通りの取り組みが教職員の努力と犠牲で行われています。

個人が自分の裁量で改善をするよりも、全員が力を合わせて業務改善を意識化することが必要です。前号で紹介した大分市立下郡小では、カリ・マネを推進することで業務改善も進んでいます。カリキュラムを学校全体で見直すことで、協働的な取り組みが推進され、さらに、それぞれの教師や地域の方の得意分野を活かすこととなります。

大分教育では、9月17日に、文科省から講師を迎えカリ・マネの研修を実施します。

令和3年度「第2回地域授業改善協議会」—大分教育事務所—

**結局カリマネって何なん？**  
学校全体で取り組むカリキュラム・マネジメント

とき 令和3年9月17日(金) 13:30~16:10

ところ 大分県教育センター (講堂)

講師 文部科学省 初等中等教育局 教育課程課 教育課程企画室長 石田 有記 氏

研修プロフィール

- 平成11年文部省(現、文科省)入省
- 係長(教科指導、教育課程課、財務課、特別支援教育課)、
- 那珂川市教育委員会教育文化長、教育課程課教育課程企画室長
- 主任、大分県教育センター副所長
- 小学校学級指導員(1995年) 解説担当、中学校学級指導員(1999年) 解説担当の職歴を有する。

## 下郡小 働き方改革に必要な4観点

(一部抜粋)

### 1 個人の「仕事観」の変革

・さる先生の「全部やろうは、バカ野郎」

### 2 学校風土の上によき学校文化を創りあげる

・時間にルーズな学校から時間感覚にあふれる学校へ  
・同調圧力、暗黙のルールの払拭

### 3 時間感覚を身につける

・チャイムで始まり、チャイムで終わる授業  
・会議の開始時刻・終了時刻

### 4 仕事術・時短術の会得

### ○エッセンシャル思考で仕事をしよう!

最小の時間で最大の成果

### ○最大成果を生むために「選択と集中」4つの階層

【マイナス仕事】 子どもへのマイナスをもたらす仕事例) 集会の発表等で、見栄えを気にして教師が全部考えて、子どもたちは読むだけは、手段の目的化。子どもの主体性を生かしていない。

【ファッション仕事】 やっても成果を生まない自己満足仕事例) 手の込んだ掲示物。子どもたちの正の変化を引き出せないのでは..

【マスト仕事】 やらなければいけない仕事

【ベター仕事】 やったほうが良い仕事

※出典「さる先生の全部やろうはバカやろう」(坂本良品)



キーボード名人になろう
10級 できるからチェックしよう!
10級 「あいうえお」を10回正しい並びのポジションで打てる
9級 「あからんまで」正しい並びのポジションで打てる
8級 「か行、さ行、た行、ば行、ぱ行」正しい並びのポジションで打てる
7級 自分が考えた文章を正しい並びのポジションで打てる
6級 国語の教科書の文章を一分間20文字打てる
5級 国語の教科書の文章を